

謹賀 丑 新年
2021 年 うしし



あぼろの
迷作展



新春雑感

常務理事 川岸 祥泰

恙なく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、業務体制の見直し、感染時の対応の検討、感染時の装備品など災害を含め備蓄体制の拡充など、法人全体で取り組むことができ、無事に新しい年を迎える事が出来ました。

さて、私共は昨年10月1日に創立30年を迎えました。而立の年になりますが未だ立っているだけで方向が定まらず、迷いに迷っています。COVID-19による自粛の影響もあり、特段の事業展開はできなかったものの、少しずつではありますが不惑に向かう今後10年の法人の基礎固めにつながると思われる事業を行いました。初代理事長の家屋敷及び敷地等600坪の寄贈を受け、グループホームの増築並びに相談支援センターの移転を行いました。未だ充分な活用には至っていないものの、夢途中にして急逝された二代理事長のくとかく境界線のない「福祉の理想郷」を夢見ている昨今です>という思いを実現するための中長期の目標及び計画に取り組んでまいりたいと愚考しております。



昨今、主に経済の分野でダイバーシティ&イノベーションとよく言われているのを耳にします。個々の多様性を認め合い、ともに手を携えて一緒に働いていく、協働しようということかと思えます。私共の事業に置き換えれば、「……障がい者の作業所に老若男女を問わず、健常な方々が自由に立ち寄ってくださり、又お年寄りのいこいの場になれば」と思いめぐらせた二代理事長の考えがD&Iそのものではないかと思っています。

今年の干支は丑です。牛の歩みのようにゆっくりとでも着実に取り組み「牛の涎」のごとく細くても長く切れ目なく今後とも前を向いて進んでいく所存であります。

各位のご指導ご協力をお願いいたします。

楽しいことは、 自分たちでつくるのです！

～津の辺～



昨年はコロナの影響で自粛の波が押し寄せ、戸惑いやストレスを感じている人が多い一年となりました。四条畷福祉会も当然のことながらあらゆる行事が中止、縮小化となりました。それでも、少しでも楽しく過ごして頂きたいと考え、津の辺と四条・蔀屋各作業所は一日外出を企画しました。

各所ごとに、そして人数の多い津の辺は少人数のグループをつくり出かけました。短い時間でしたが海が見える休憩所ではそれぞれが思い思いのお土産を購入！！ジュースやアイスを買って満喫し帰路に着いたのです。

帰ってからの昼食は豪華なお弁当でした。はじめは半日では物足りないのではないか？？と心配もありましたが、短い時間の中でも皆さんの旅行気分も満たされて、それぞれが久しぶりのお出かけを楽しまれたようです。

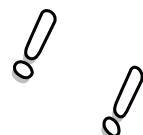
(横川 恭子)



カフェでのんびり～



大満喫！



はい、チーズ☆



くつろいじゃって音楽



作って 造って 食べて スペシャルディ☆

四条作業所

コロナの感染が進む中、津の辺・四条作業所・部屋作業所合同で行っていた土曜日のクラブ活動も今年度は各所単位で取り組むこととなりました。

四条は第2土曜日は調理、第4土曜日はお菓子作り、また、季節に合わせた工作的な取り組みも行っています。



四条で調理といえばカレー作りです。具材は利用者さんに考えていただき、みんなで力を合わせて仕上げていきます。

お菓子作りの希望も聞いていますが毎回何故か「ホットケーキ」のリクエストが多いのです。シンプルなシロップの日もあれば、フルーツやホイップなどをトッピングしてボリュームもたっぷりの日もあり、ニコニコと満足気なみなさんです。

プリンアラモードやクレームなど甘いものだらけですが、この日だけはスペシャルディとしています。

工作は鯉のぼりや七夕の短冊作り、家族へのプレゼント、ハロウィンやクリスマスの飾り付けなどなど、その月のイベントを取り入れながら、どれもこれも個性的な作品が仕上げられています。

いつもは仕事に忙しい四条の利用者さんですが、この日ばかりは作って、食べて、のんびりとしたひとときを過ごされています。



(花村 昭子)

じゃーん！



ミニ 二つのべまつり開催！！！！

部屋作業所



9月18日(金)部屋作業所にてミニ二つのべまつりを行いました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、各所毎単体で行い、3密を避け1階と2階に空間を分けての開催としました。前日までにまつりの看板や、折り紙で作った輪っかななどの簡単な飾りつけも行い、まつりの雰囲気もしました。利用者さんにも看板の色ぬりや輪っかの糊付けなどを手伝って頂きました。

お弁当を食べ終わり、ゲーム大会を開始して、ボウリングと輪投げで楽しみました。チーム対抗で2種目の合計点で競い合い、なんと113点对114点のわずか1点差という僅差で優勝者が決まりました。今回は輪投げで、得点の取り方を工夫したので大いに盛り上がっていました。

続いてのかき氷大会は、ミニカップに入ったソーダ一、メロン、イチゴのシロップから選んで頂き、そこに練乳をかけておいしく頂きました。中にはご自身で作られる方もいました。

その後はDVDで「嵐」の曲を流したところ、一部の利用者さんが突然、前に出て来られて笑顔でゆらゆら体を動かして踊りだされたことに驚きました。他の利用者さんも座りながらでしたが、手を動かされて踊っていました。

今回、各所でのまつりでしたが、この利用者さんは「嵐が好きやったんや」「投げるのが上手やな」など利用者さんの新たな一面も見られて良かったです。皆様お疲れ様でした。

(小野 浩史)



パリン♪

あの頃を振り返る・・・

～三上さん親子に伺いました
「在宅支援の日々」～

なわて更生園

新型コロナウイルスの拡大、緊急事態宣言の発出を受け、四条畷福祉会でも4～5月の期間で、在宅の生活介護ご利用者の皆様に対し、通所利用の自粛をお願いしてきました。在宅支援の期間中のご様子について、なわて更生園の三上さんのお母様にお話を伺いました。



Q1. 通所利用の自粛要請を受け、利用日の制限という事を聞かれた時、どうおもわれましたか？

A. 一番は散歩のことですね。一人で散歩に行かせることは出来ないし、私も年齢的に毎日しんどいなあ、大変だなあと思いました。

Q2. お休みされている間の日課を教えてください。

A. 朝はいつも通り6時半ごろ起きまして、10時ごろから人通りの少ない場所を選んで1時間ほど散歩に出ていました。息子は園から持ち帰ったネジ巻き作業も日課にしていました。

Q3. 家庭で過ごす時間が増えましたが、正和さんとの関係性で変わったと思う事がありますか？

A. 私がこの頃忘れ物をすることが増えまして（笑）お互い口には出しませんが、あの子もなにか感じるのか色々手伝ってくれるようになりました。毎日の散歩は正直しんどかったのですが、その際の買い物の時、重いものは持ってくれるので助かりました。「自分がしっかりしなくては！」と感じてくれているのかもしれませんが、説明はできませんが、そう思うことにしています。親ばかですが（笑）。

Q4. 最後になにかあれば

A. あの時は、週に3日の通所になりましたが、毎日通っていた時と変わらず笑顔で登園し、機嫌よく帰ってくるので助かりました。皆様のおかげだと感謝しています。

その頃、入所部も外出は控え、館内で過ごす時間が増えました。その中で何か楽しい事を！と考えていました。そして・・・



テイクアウトで気分転換！心もお腹もハッピー♪

ハロウィンパーティー
みんなで仮装☆

合言葉は・・・メ☆リ☆ハ☆リ みなみの工房

昨年は利用者さんのメンバーが数名変わり、そして若返った事もあり、それまで中々取り組めなかった活動のおやつ作りや、調理等を新たに始めています。その中でも、一番盛り上がった活動のおやつ作りの模様をお伝えします。



分量はきっちり0

まずは皆で役割を決めての開始となりました。数字に強い利用者さん達が材料の牛乳、生クリーム、砂糖の分量をピタリとあわせて用意してくださいました。それを、混ぜる事が得意なメンバー達にお願いしました。混ぜ終えたクリームをジップロックの中に詰め込み、別の大きな袋に沢山の氷と塩を入れた後、しっかりとふたを閉めて・・・最後に袋をタオルでくるみ、いざ、ここからがみなみの工房メンバーVSアイスとの未知のバトルの開始です。

利用者さん全員が円となり、袋のパスをしあい、投げ合ったり、グルグルとぶん回したりする中、次第に中身が冷えてアイス状になっているではありませんか！それを見て、気を良くした利用者さん達はさらに勢いよく、グルグルと回す回す。みんなで力を合わせて、完成したアイスクリームをカップに入れ、いよいよ口にする瞬間です。見た目は100%アイスクリーム、そして味は・・・「めっちゃ、おいしいやん」のリアルな感想しかでない程の出来上がりでした。なつかしのミルクセーキのような味でした。

今後も皆で楽しめる活動を定期的に盛り込み、毎日の活動に励みを、そして、メリハリある毎日が送れるように、みなみの一同、今年も一致団結して楽しんでいく所存です。

(上原 和人)



あ、おいしい!!

地域に支えられた20年



忍丘作業所

忍丘作業所は平成12年4月、JR忍ヶ丘駅前に知的障がいのある方の作業所として開所しました。開所に至った経緯は四条作業所、部屋作業所を利用出来ない方の受け皿として、さらに支援センターを通して、地域の方の利用ということでした。作業所が出来てから20年、法人スタッフの減少、利用者さんの減少、しのぶが丘相談支援センターの移転もあり、今後の四条福祉社会の発展を考え閉所する事が決定されました。忍丘を利用されていた方は部屋作業所、みなみの工房、なわて更生園の通所部へとそれぞれ5月には移行され、今では落ち着いて利用されており少し安心しているところです。私も6月からなわて更生園に異動となり、今まで経験した事をベースに少しでも貢献出来ればと頑張っています。

開所して間もなくお花の活動が始まったと聞いております。地域のボランティアの方と一緒に花を生けたり、なかにはおしゃべりを楽しむ人もいました。個人的にも1番好きな活動でした。ボランティアの方に協力していただいた活動は他にも、音楽療法、おりがみ、習字などがありました。コロナ禍もあり、活動を通して今までのお礼を直接お伝えさせて頂いたのですが、叶わずに電話でのご挨拶となった事がとても残念です。

(神田 卓哉)



ご協力いただいたボランティアのみなさま、支えてくださった地域の方々
本当にありがとうございました。

笑顔もお花も
満開です♪

心機一転、支援センターしのぶが丘！

それは、去年の暑い夏の日、四條畷福祉会にある変化が生まれました・・・といわけで、ご存じの方も多いと思いますが、令和2年8月1日に支援センターしのぶが丘は四條畷市岡山から部屋本町に事務所を移しています。私自身は当センターに異動して、ちょうど5年という節目の年であり、なんだか感慨深いものがあります。

引越しというと、作業自体は7月末より開始して、事務所内にあった机や棚を新事務所に汗だくになって運びました。そして、いざ空っぽになった室内を見渡すと、なんだか一抹の寂しさを感じました。ここは忍ヶ丘駅からも近く、たまに地域の方が立ち寄ってくれる

など、比較的、身近に感じてもらえる場所だったと思います。また、色々と思い返せば、数えきれない出来事がここではありました。

しかし、いつまでも思い出に浸ってはいは、前に進めません。次は新天地！部屋本町で相談支援事業を展開することとなり、ここのメリットとしては、なにより広さであり、前の事務所の倍以上のスペースがありますので、近くにお越しの際は気軽に立ち寄っていただければ幸いです。また、各所への移動距離も近くなり、相談支援をするうえで、距離が短くなるというのは非常に大きな強みであり、これからは、益々、各所との連携を強化して、相談支援事業に励んでいこうと思いますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

(田中 敏)



新しい支援センター



変わるときに守るべきものを考えてみた

～with コロナで法人の向かうべき道～

ご無沙汰しております。昨年4月の緊急事態宣言を受けて7月号発行を中止に致しましたので機関誌は1年ぶりとなります。

この間、4月の第1波、8月の第2波を経て、これから本格的なインフルエンザと相俟って第3波が言われています。法人として、昨年3月に職員の濃厚接触の疑いによるPCR検査の受検（のちに陰性）をきっかけに、あらためて今回の新型コロナ肺炎の、法人としての対応を検討することとなりました。3月からショートステイ・日中一時利用の中止を先行し、4月よりグループホーム利用者のグループホーム単位での同一の日中事業所への転籍、入所施設における通所利用者の館外施設利用、入所施設における保護者の面会・帰宅の自粛、法人下各所間の職員並びにご利用者の行き来の中止を当面の間の措置として取り急ぎ進めました。今回の対応でご利用者には大変ご不便おかけしております。

法人各事業所としては人手不足もあって相互応援の形をこれまで取ってきました。入所の遅番シフトやグループホームの入浴介助に日中事業所がカバーをしていました。また、保護者による清掃協力ボランティア等で閉鎖的と言われる要素も見守って頂いておりました。また、ご利用者に関してもショートステイや、所属する事業所のないプログラムを法人他部所に求めて利用することもありました。これまで継続してきた法人のスタイルが、接点を持つことで濃厚接触者の有無やPCR検査に毎回翻弄され、また、万が一罹患者が出た場合も最小限のユニットに留められずに拡大する懸念から、それぞれが単体の動きで法人らしさを断って今に至っています。暫くはこの対応でご理解頂いたいと思っております。

さて、昨年は法人設立から30年を迎えることができました。書面にてお礼申し上げます。ちょうど30年前に出版された日経ビジネスの「会社の寿命」に30年説があります。明治から昭和にかけて企業の興亡を分析したものなのですが、今ではグローバル化・デジタル化の波で求められるスピードは更に加速度を増しているという意味では、その寿命は更に短くなっていると思われます。生き残る条件として、「創業者精神の継続」、「信念を貫く」「チャレンジ精神」、「絶え間ない努力」、「執念・情熱・夢」、「変化への対力」、「先見力・大局観」等のことばが挙げられていました。今も昔も軸は変わらないのかも知れませんが、恥ずかしながら体得出来ていないが、次の10年をどう生き永らえるか。感染症対策をしつつ、それらからも生き永らえながら、考えたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

(なわて更生園 園長)

またまた グループホーム 引っ越しました

リフォーム→引っ越し→
そして新生活!

昨年10月1日からしとみやの家②住居の新しい生活が始まりました。引っ越しは何回目でしょうか・・・？2回目？！3回目？！4回目？！位でしょうか。



今回引っ越しをされたのは、二丁通住居の方たちです。平成26年10月から7年間本当にお世話になった二丁通の家近隣の皆様、ありがとうございました。また、開設から廃止まで関わってくださった方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。

二丁通住居にて 最後にパシヤリ

消防設備等の設置と撤去で多額な費用がかかる事にも頭を悩ませました。しかし、高齢重度化が進む利用者の方々の「住まい」です。とても大切なことです。今回の引っ越しを機に、法人内のグループホームすべての住居にスプリンクラーが付きました。しかし、ハード面だけが整えばいいかというとそれは違います。ソフト面が一番重要です。「住まい」については考えても、考えても十人十色で答えが出ません。何が利用者の方にとってよいのかは、私達にとっての永遠のテーマかもしれません。

(尾座 賢太)

◆しとみやの家の歴史◆



最初は大きな木の
生えた庭でした



それが
立派なしとみやの家に!



その横が
しとみやの家②に
なりました

ちょっと一息・・・

コロナ禍の中、なかなか外出できなかったとある夏の日。近くの避暑地にマスクをして出かけました。本当に久々の外出でした。普段は色々ありますが、なんだかんだ仲が良いなと感じました。

写真もソーシャルディスタンスを保ち、前後にズれるなどして撮りました。



高空のもとで

なわて更生園設立30周年記念

第30回のなわてまつりは、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、30周年の記念式典の中止の決定に合わせ、イベントの内容を変更させていただくことになりました。コロナ禍において、今年度は行事をやむを得ず中止させていただく企画もある中、当初の内容での開催を楽しみにお待ちしております関係者の方には大変申し訳ございませんが、この事情についてご理解下さいますよう、ここにお願い申し上げます。



豪華満腹！！



さて、今回は利用者さんにコロナ禍の中でも配慮した上で楽しんでいただくべく、オンライン祭とはいきませんが、あらかじめ祭りの進行を収録したDVDを作成し、ちょっとしたスライドショーも作成しました。私が司会をしたので、吉本新喜劇を観ているかのような笑いをそれぞれに巻き起こしたものだと確信しておりますが、参集の皆様いかがだったでしょうか？そして昼食に豪華なお弁当とおやつにプリンも準備させていただき、少しでもお祭り気分を味わっていただけたのではないかなと担当者一同自画自賛しております。

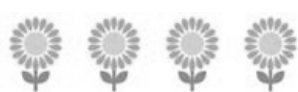
今後もこの新型コロナウイルスと共存していく状況は続いていく為、施設内行事などオンライン等での活動や規模縮小に切り替えてのイベント開催で続けていくことを検討されている事業所も多い事でしょう。しかし、利用者さんに楽しんでいただきたい、祭りの雰囲気を感じていただきたいと思う一方、

オンライン上だけでは人と人との繋がりが希薄になってしまうのではないかなという問題をそれぞれが感じておられると思います。こんな時だからこそ、利用者さんが心底楽しめるようなイベントを考え、試行錯誤していくことも支援員の大事な使命なのではないかと思ひます。

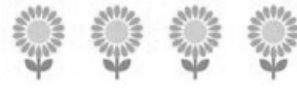


(山本 秀明)

鑑賞中☆



幻の迷作展



迷作展の中止のお知らせ

昨年度、3月の迷作展はコロナウイルスが流行した為、開催間際での中止決定を余儀なくされました。

その為、各部署で計画を立てて作成してきた作品たちが、置き去りのままとなっていました。

今年度こそと対策も考え、開催を進める準備をしておりましたが、

コロナウイルスが終息する気配がありません。

楽しみにして頂いていた皆様には、大変申し訳ありませんが、

今年度も早い段階で中止を決定いたしました。

また、展示を予定しておりました作品達を見て頂ければと、ここに掲載しました。(表紙にもあります！)

幻になりそうだった作品たちの写真館



なわて エコビーズ班



津の辺



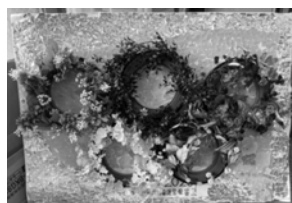
なわて 手作り班



みなみの工房



部屋作業所



四条作業所



令和元年度
大東市障害者
自立ネット
アート展にて
金賞受賞作品！！

ボランティア御礼

ボランティアセブン様
散髪ボランティア様「山の会」様
四条畷お話の会様
真鍋和美様
吉井ナカ子様

御礼 (御厚志)

ボランティアセブン様
滝孝弘様 大滝剛様
石堂久代様 西川章子様
高橋敏広様 杉山乙彦様
福原陽子様
四條畷市老人クラブ連合会女性部様
部屋老人クラブ女性部様
滝木間老人会様

ボランティア募集

- 一緒にお出かけしませんか？
- 一緒にお仕事しませんか？
- 一緒に旅行にいきませんか？

※利用者の方たちと楽しく過ごしていただける方を募集しています。

興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

連絡先：なわて更生園

横川（TEL：072-876-3334）

人事

【入職】

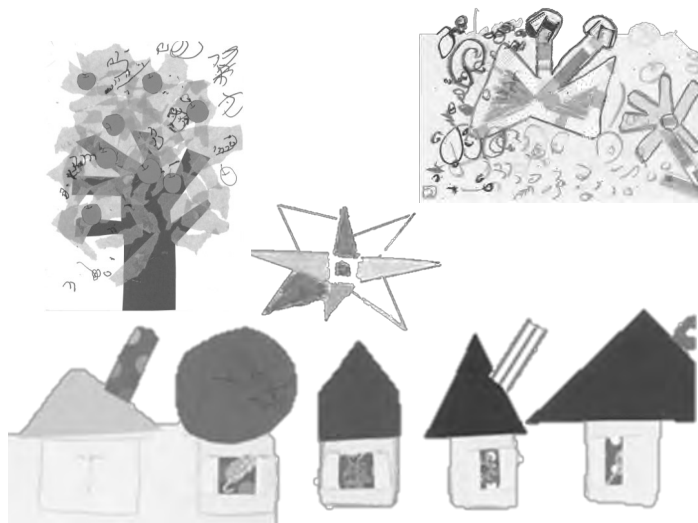
鳥羽 睦恵	生活支援員	なわて更生園	2/10付
丸川 皓平	生活支援員	なわて更生園	6/8付
吉岡 康仁	生活支援員	なわて更生園	10/1付
池見 薫乃	世話人	グループホーム	令和元年 12/1付
中村 純子	世話人	グループホーム	5/1付
長谷川 彩	世話人	グループホーム	6/1付
崎山 真理	世話人	グループホーム	6/1付
北田 節子	調理員	津の辺	9/24付

【退職】

森 文彰	生活支援員	なわて更生園	令和元年 12/31付
古田 真由理	調理員	なわて更生園	令和元年 12/31付
上妻 慶子	世話人	グループホーム	令和元年 12/31付
竹元 勇登	生活支援員	津の辺	3/31付
室生 由美	生活支援員	みなみの工房	3/31付
松本 昭子	世話人	グループホーム	3/31付
日野 隆志	世話人	グループホーム	5/1付
岡田 富江	調理員	津の辺	6/30付
稲田 美代子	世話人	グループホーム	7/31付

【異動】

坂田 裕美	忍丘作業所	→部屋作業所	5/1付
神田 卓哉	忍丘作業所	→なわて更生園	6/1付
関原 悦子	忍丘作業所	→みなみの工房	6/1付
高野 晶子	忍丘作業所	→みなみの工房	6/1付
藤田 祐加	なわて更生園	→みなみの工房	9/1付



社会福祉法人 四条啜福社会を支援するための 「賛助会員」 入会のお願い

四条啜福社会は平成2年3月大阪府知事の認可を受け、知的障がい者の育成を目的として、社会福祉事業に理解ある人達や保護者によって設立されました。

今、障がい者問題は、障がい者を保護育成する時代から、社会の構成員として共に地域生活ができるよう福祉サービスの推進が求められる時代となってまいりました。

しかしながら知的障がい者が安心して生活が送れる地域社会への実現にはさらになお多くの方々の御協力、御支援が必要でございます。

つきましては、皆様方には、知的障がい者の現状をご理解いただき本法人活動に、賛助会員として御支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、この会費は、「寄附金」として、本法人の経営する第一種および第二種社会福祉事業に使用させていただきます。



賛助会費

個人：年額 1,000円

団体：年額一口 10,000円

①1口でも結構です

②税法上の特典があります



『賛助会員』 加入の御礼及び協力者一覧

令和1年12月1日から令和2年10月31日までに賛助会員に賛同して下さった方は
22名、総額費は320万円でした。ありがとうございました。

山崎半平堂様 土井義輝様 入部町子様 キンキ寝具株式会社様
明石隆行様 加護野香代子様 三栄商事株式会社様 藤川朗様
岡崎忍様 濱田千代子様 堀内昭治様 中渡瀬敏子様 紺屋孝之様
脇田千鶴様 高島眞雄様 小島伸介様 高橋敏広様
アイサポート株式会社様 田畑美知子様 小林誉典様 匿名（順不同）

支援スタッフ募集 知的障がい者への理解のある方!!

支 援 員 年令 40 歳迄 長期勤続によるキャリア形成を図るための若 年者等の募集（3号のイ） 要原付免許 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正月給／240,118 円～（短大・専門学校卒の場合） 248,239 円～（4 大卒の場合） （夜勤手当 6,000 円/4 回・処遇改善手当含む） （近辺居住の世帯主に限り住宅手当 20,000 円支給） （試用期間 3 ヶ月）	7：00～ 15：30 9：00～ 17：45 13：00～ 21：45 15：00～翌 10：00 シフト制（夜勤有）
看 護 師 年令 50 歳迄 長期勤続によるキャリア形成を図るための若 年者等の募集（3号のイ） 要普通自動車免許 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正月給／289,360 円～（正看護師の場合） 269,260 円～（准看護師の場合） （職務手当・処遇改善手当含む） （経験考慮します） （近辺居住の世帯主に限り別途住宅手当 20,000 円支給） （試用期間 3 ヶ月） 利用者の健康管理、通院介助など	9：00～17：45
支 援 員 勤務地： なわて更生園（四條畷市南野 2463） 津の辺 （大東市南津の辺町 1-43）	時給／1,060 円～	9：00～17：45
調 理 員 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	時給／1,040 円～ 事業所での食事提供にかかる全般	6：15～14：00 9：00～17：45 14：00～19：00 シフト制(時間応相談)
世 話 人 勤務地：(大東市内・四條畷市内に 複数ヶ所有り)	一泊／16,964 円 利用者の身辺援助、食事提供が主な仕事です。	16：00～翌 10：00 (仮眠有)

【待遇】各種社会保険、賞与年2回、有給休暇有、交通費支給（上限有り）【応募】まずはお問い合わせ下さい

社会福祉法人 四條畷福祉会 ☎072 - 876 - 3334

1年ぶりのなわてふくしだよりの発行です。コロナ禍でみなさんそれぞれ大変なことも多いとは思いますが、今こそウィルスに負けず、しっかりと対策をしながら、でも今までに負けないくらい、いろんなことを楽しめる私たちでありたいと思っております♪
 コロナなんかに負けないぞ!!!
 藤田